

従業員が日本で一番

働きやすい会社になる！

株式会社オープンアップウイズ

四ツ谷駅からほど近いビルにある、株式会社オープンアップウイズ（以下オープンアップウイズ）四ツ谷サテライトにお伺いしました。オープンアップウイズは、国内14社からなるオープンアップグループの特例子会社で、2005年7月に前身である共生産業株式会社として創業。2016年4月からフラワーアレンジメント事業を始め、現在ではステーションナリー事業、アウトソーシング事業の3事業を展開しています。

見学させていただいたフラワーアレンジメント事業のワークスペースには、色とりどりのアーティフィシャルフラワー作品が並べられていて、とても華やかで明るい雰囲気でした。オープンアップウイズでは障がいがある方を『スタッフ』

サポートスタッフを『クルー』と呼んでいます。取材日は、10数名のスタッフの方々が落ち着いた雰囲気の中、作業していらっしゃいました。



なせ生花ではなくアーティフィシャルフラワー？

四ツ谷サテライトでは、社長室 監査役室・役員会議室に飾る作品や、株主総会・全社総会などイベント会場のエントランス等を彩る大型の作品を作っています。あるテーブルでは大きな作品から一つ一つ花を抜く作業をしていました。クルーの方にお聞きすると、「季節に合う作品に作り替えています。生花と違い、何度も再利用できるのがメリットです。スタッフも積み上げたデザインスキルを何度でも発揮できます。最初はフラワーアレンジメント資格のあるクルーがデザインしていましたが、今ではスタッフ自身がデザインにも取り組んでいます。」とのこと。抜き取られた花は種類・色に分類していました。スタッフの方がとても丁寧に扱っているのが印象的でした。今後は、個人向けのオーダーメイドブランドも提供予定だそうです。



個々人それぞれが個性を発揮して、「一緒に幸せになろう」

「サテライトのみの環境では、出社できない人は採用できない。これではいけないね。働く意志があるのに外出が難しい方にも働く環境をと、リモート・フルリモート勤務体系を考えています。」と佐野社長。実現に向けてはサポート体制をどうするかなどクリアにしていくな点も多いとのこと。「しかし、これは障がいのある方のためだけではなく、子育て中の女性や高齢者でもキャリアを発揮できる環境にもつながります。」

『幸せな仕事を通じて、ひとりひとりの可能性をひらく社会に』というオープンアップグループの目的を強く感じ、人も物も大切に、障がいあるなしに関係なく、「一緒に幸せになろう」という想いに、親として大変うれしく、感銘を受けました。



(左から)

田園調布学園大学人間福祉学部 和秀俊教授，コーポレートコミュニケーション局局长 佐藤さやか様，代表取締役社長 佐野裕己様，JustSmile!! 高木編集長
<https://openupwith.com/>



取材担当 岩下 尚音 親子